

## 2011年COMP学生シンポジウム最優秀論文賞について

2011年COMP研幹事団

この度の東日本大震災の影響により、2011年3月に予定されていた電子情報通信学会 総合大会が中止となり、COMP研の企画「COMP学生シンポジウム」も併せて中止となりました。毎年、本シンポジウムでは最優秀論文賞を授与していましたが、この中止に伴いまして、本年は選考の実施が見送られておりました。

一方で、IEICEでは本企画を含む総合大会での講演を全て既発表扱いとしております。幹事団としましては、本企画に向け多くの学生の皆様に多大な労力をかけて準備して頂いた事もあり、本賞の選考を何とか実施したいと考えました。そこで、本賞選考委員会およびCOMP研専門委員会の皆様のご協力の下、後にご説明致します通り、本賞の選考を実施致しました。

ここに、受賞者および選考過程につきまして、改めてご報告致します。

### 【受賞者】

早坂 智行 [東京工業大学・修士二年(2011年3月時)]

“DS-1-3: 多項式しきい値関数密度の上界の改善”

○早坂 智行(東工大)・天野 一幸(群馬大)

### 【選考過程】

7月12日～20日	本賞選考委員会、COMP研専門委員会の皆様とメール審議の上、選考方法を「本賞選考委員会、COMP研専門委員会の皆様によるメール投票(一人3発表まで投票可)」と決定した。また、本件含め、震災時など不測の事態に対応できるよう、2011年7月20日付けで本賞の選奨規程を改訂した。
7月20日～8月4日	本シンポジウムにお申込み頂いた著者へ連絡を取り、発表に関連する資料(発表用スライド、原稿のフルバージョン等)をCOMP研幹事・河内までお送り頂いた。
8月8日～9月8日	著者から頂いた資料を河内が作成した専用ウェブページにて、投票権をお持ちの皆様に限り閲覧できるようにした。期日(9/8)までにメール投票をお願いし、COMP研幹事・河内および伊藤により集計を行った。
9月12日～27日	結果を本賞選考委員会、COMP研専門委員会にメールにて報告した。最多得票数の発表を本賞受賞発表としてCOMP研専門委員会にて承認を行い、受賞者本人にメールにて連絡を行った。

### 【2011年COMP学生シンポジウム最優秀論文賞 選考委員会】

浅野 哲夫(北陸先端大)、伊藤 健洋(東北大)、小野 廣隆(九州大)、河内 亮周(東工大)、平田 富夫(名古屋大)、堀山 貴史(埼玉大)、宮崎 修一(京都大)、渡辺 治(東工大)